

アオサギ観察会

2013年5月26日

あのヒナ、何週目？

1週目 白い綿毛のような頭が巣の上にびよこびよこ見え隠れしていたら1週目です。この時期のヒナは白い毛むくじゃら。そのふわふわの塊に目とくちばしがついているといった感じです。くちばしは短く、目は二日酔いのようにとろんとしています。鳥というよりはカメの顔つき。ヒナはほぼ1日おきに生まれるので、最初に生まれたヒナと最後に生まれたヒナとでは体格にかなりの差ができてしまいます。



2週目 遠目にはまだ綿毛に包

まれたまま。けれども、綿毛の下では将来の羽になる羽鞘が少しずつ伸びてきています。くちばしもいくぶん長くなり、多少サガラしくなってきます。ほとんどの時間は親鳥のお腹の下で眠っていますが、たまに親鳥が立つと、すぐにヒナ同士でくちばしを使った格闘がはじまります。親鳥が餌を与えると、ひとしきり食べてあとはたちまち昏睡。

3週目 だいぶ羽が伸びてきま

した。色合いにもメリハリがつき、顔つきも精悍でずいぶん成長した感じですが。けれども体型はコロコロのまま。まだまだ足元もおぼつきません。この頃にはヒナは自分で体温調節ができるようになるため、親鳥はヒナを残し巣を離れはじめます。ただ、巣を空けるタイミングが早すぎるとヒナがカラスの餌食になりかねず、ヒナにとっては危険な時期でもあります。



4週目 立ち上がって首を伸ば

した姿は親鳥のスタイルにかなり近づいてきています。けれども、風切羽はまだ途中までしか開いておらず、尾羽もほとんど伸びていないため、首から下の丸っこい詰まり体型はそれまでとあまり変わりません。この時期、ヒナは巣から伸びる枝に移動するようになります。翼をたたむと小翼羽が側面に黒い斑状に見えるのもこの時期の特徴です。



5週目 風切羽がずいぶん伸長

しました。一見、いつ巣立ちしてもおかしくないように思えます。ところが、格好は一人前でも、親鳥と比べるとまだひと回りもふた回りも小さいのです。巣立ちは親と同じ大きさになってから。この時期はまだ巣立ちまでの折り返し点に過ぎません。この翼が役立つようになるのはまだ2週間あまり先のこと。飛びはじめた後も、一人立ちするまでにはさらにもう2週間ほどかかります。

